

鳥取県西部地域振興協議会からの令和９年度国・県政に対する要望への回答

番号	区分	項 目	要 望 内 容	回 答	担当部局
1	継続	中国横断自動車道岡山米子線の４車線化の早期実現	近年、全国各地で大規模な被害をもたらす自然災害が頻発し、幹線道路が寸断される等の被害が発生している。本路線においても並行する国道が土砂災害や冠水により通行止めが度々発生するなど脆弱性を抱えるとともに、緊急時における支援物資の輸送や生産活動の継続等に課題を有している。このため、地域が災害により孤立することを回避するためにも早期に全線４車線化を実現することが強く求められている。 このような中、令和元年９月１０日に策定された「高速道路における安全・安心基本計画」において、蒜山 IC～米子 IC 間は「優先整備区間」に選定され、令和４年３月に全線が事業化されたところであり、全線４車線化の早期供用を図るよう県からも国に働きかけること。	引き続き「中国横断自動車道岡山米子線（蒜山 IC～境港間）整備促進期成同盟会」や岡山県の「中国横断自動車道４車線化促進岡山県期成会」等の関係機関と連携し、スタンプラリー実施等による利用促進を図りつつ、全線４車線化の早期供用を国及びNEXCO 西日本に要望していきます。	県土整備部 (道路企画課)
2	継続	米子・境港間を結ぶ高規格道路の事業化について	日本海側の国際交流拠点として進化を遂げつつある米子・境港地域が、災害に強く、安全・安心な活力ある社会へ更なる発展をし、地域未来戦略等を推進していくためには、その基軸となる中国横断自動車道岡山米子線を終点の境港までつなげることが必要不可欠である。 ここに、地元自治体及び関係団体が一致結束し、米子・境港間を結ぶ高規格道路について、次のとおり県からも国に働きかけること。 ・中国横断自動車道岡山米子線（米子～境港）の早期事業化に向けて、計画段階評価の手続きを着実に進めること。	昨年６月に第１回目の計画段階評価となる「社会資本整備審議会道路分科会中国地方小委員会」が開催されました。第２回目（開催日時未定）でルート帯が示され、同委員会で承認されれば、手続きは完了する見込みです。 引き続き、中海・宍道湖８の字ルート整備促進総決起大会等で、早期事業化を国に働きかけていくとともに計画段階評価の円滑な推進が図られるよう、国や関係自治体と連携した取組を展開していきます。	県土整備部 (道路企画課)

番号	区分	項 目	要 望 内 容	回 答	担当部局
3	継続	山陰道米子道路の整備促進	日本海国土軸を形成し、国土全体のネットワークの多重性・代替性を確保するとともに、災害時の代替機能、観光交通、経済競争力強化として高速道路が有する多様な効果の実現に向け、また、対面通行による交通事故の危険性回避、通勤時間帯等の渋滞の解消、及び防災機能強化を図るため、山陰道米子道路の整備促進について次のとおり県からも国に働きかけること。 ・日野川東 IC～米子南 IC 区間について、通行過多により合流部において渋滞が発生している状況にあることから、定時性・安全性の向上を図るため、付加車線の早期供用に向けて整備を促進すること。 ・米子南 IC～米子西 IC 区間について、山陰道安来道路の4車線化工事が着工されたことから、同様の整備に向けた検討を進めること。あわせて、現状の米子西 IC のオフランプは、山陰道から降りてくる走行車と側道走行車の合流点が大変危険なことから、高速道と一般道を切り分け、安全で快適な道路となるよう整備の検討を進めること。 ・残る2車線区間である淀江 IC～米子東 IC 区間の付加車線設置についても検討すること。 ・中国横断自動車道岡山米子線と山陰道米子道路をつなぐ米子 JCT のうち未整備となっている東側（大山・鳥取方面）の接続について、JCT が本来有すべき利便性、速達性を確保するため、接続経路の新設を含めた米子 JCT のさらなる整備の検討を進めること。	日野川東 IC～米子南 IC（約2.4km）の付加車線については、令和元年度に日野川東 IC～米子大橋（約0.8km）が暫定供用したところですが、残りの区間の早期整備を国に働きかけていきます。 また、米子南 IC～米子西 IC の付加車線整備に向けた検討及び米子 JCT の東側の接続について、国に要望を伝えます。	県土整備部 (道路企画課)
4	継続	高規格道路「江府三次道路」の整備促進	鳥取県西部地域と広島方面との地域間交流、地域経済の活性化、安心・安全の確保及び防災機能強化を図るため、高速道路ネットワークを補完する高規格道路「江府三次道路」の整備促進について、次のとおり県からも国に働きかけること。 ・直轄権限代行により事業着手される区間（鍵掛峠道路 L=12km）を着実かつ早期に整備すること。 ・県施行整備区間である江府町内（江府道路 L=4km）の整備を促進すること。 ・全延長86kmのうち、約32kmの調査区間を整備区間に、未着手区間の約32kmを事業着手すること。 ・特に調査区間である江府町武庫～日野町下菅間（約9km）については、線形も悪く、豪雨時には道路冠水も発生することから、未整備のままでは江府道路の整備効果も十分発揮できない。一日も早く同区間を整備区間に、未着手区間を調査区間に格上げし、事業化を図ること。	「江府三次道路」のうち、鳥取県が整備を進めている「江府道路」については、日野川を渡河する2つの橋梁及び宮ノ谷橋並びに宮ノ谷トンネルが完成しています。また、久連トンネルについても、引き続き事業実施し、整備促進を図ります。 また、国土交通省が直轄権限代行により整備を進めている「鍵掛峠道路」については、令和7年度の県内区間（約5.7km）供用が公表されていましたが、トンネル工事中に大量に湧水が発生し湧水対策工等の追加により、開通時期の見直しが発表され、開通時期は未定となっています。開通時期が大幅に遅延することがないよう、引き続き国に整備促進を働きかけていきます。 県内の調査区間である江府町武庫～日野町下菅間（約9km）については、町などの関係機関と調整しながらルート決定を行うために必要となる調査及び整備手法の検討を行います。 未指定区間については、「江府道路」の進捗状況や現状の交通状況等を踏まえて事業の必要性等を検討していきます。	県土整備部 (道路企画課、道路建設課)

番号	区分	項 目	要 望 内 容	回 答	担当部局
5	継続	冬期における除雪体制の強化	地域経済活動を維持し、安心で安全な生活を確保するためには、安定した冬期交通を確保する必要があり、各道路管理者や関係機関が一体となったさらなる除雪体制の強化を図られるよう要望します。	県として除雪体制の強化に努めてきており、今後も除雪作業における連携強化のため、国、県、市町村、NEXCO 西日本、県警、気象台、隣接自治体等との情報共有の在り方について、意見交換を行っていきます。	県土整備部 (道路企画課)
6	継続	総合的なインフラ整備の促進について	近年、自然災害が頻発化・激甚化しており、加えて南海トラフ地震も40年以内に90%の確率で発生することも予測される中、令和6年8月には令和元年5月の運用開始以来初めてとなる南海トラフ地震臨時情報が発表された。 また、令和8年1月6日には、島根県東部を震源とする地震が発生し、鳥取県西部地域では、最大震度5強の激しい揺れを観測したが、圏域生活や経済活動を支えるインフラの甚大な被害はなかった。これは、これまでの着実なインフラ整備の効果が発揮されていると実感しているところである。 今後一層の地域の安全・安心、国土の強靱化、地域の持続的発展を実現し、経済に好循環をもたらすストック効果を早期に発揮させるため、必要なインフラ整備が進められるよう、計画的かつ着実に推進していただくよう県からも国に働きかけること。	国の「第1次 国土強靱化実施中期計画」が令和7年6月6日に閣議決定され、防災・減災、国土強靱化の取組を切れ目なく推進していくこと等が示されました。 本県は、国土強靱化の強力かつ継続的な推進等について令和8年8月6日に国要望を行う予定としており、「第1次 国土強靱化実施中期計画」の実施に必要な予算・財源については、資材価格・人件費高騰等の影響を適切に反映した上で、例年以上の規模で通常予算とは別枠で確保し、強力かつ継続的に推進するよう、今後も引き続き、国に対して働きかけていきます。	県土整備部 (技術企画課)
7	継続	高速鉄道網の整備	高速交通時代に対応し、地域の発展はもとより国土の一体的な振興と発展のためには鉄道の高速度化が不可欠であり、地元自治体としては、フル規格新幹線の整備を前提としつつも、段階的な整備手法についても研究することとしている。災害に強い国土づくりやリダンダンシー確保の観点からも、新幹線整備の実現に向けて、次のとおり県からも国に働きかけること。 ・「地方創生」、「国土強靱化」を強力に推進するためには新幹線ネットワークの整備が有効な手段の一つであり、中国横断新幹線（伯備新幹線）及び山陰新幹線の基本計画路線から整備計画路線への格上げに向けて、法定調査を早急に実施し、鳥取県西部地域自治体とともに取組みを進めること。 ・新幹線整備の際の整備事業費の地元負担金のあり方の見直し及び並行在来線を経営分離しないために必要な措置の検討並びに新幹線予算総枠の拡大について検討すること。 ・伯備線の線形改良など幹線鉄道の高速度化に向けて整備を進めること。	中国横断新幹線（伯備新幹線）及び山陰新幹線の整備計画路線への格上げに向けて、県では県内外関係団体と連携し、これまで繰り返し、地元負担のあり方や並行在来線の経営分離方針の見直し、また調査研究事業の継続等を含め国に働きかけてきたところです。なお、今年1月22日に開催された全国の新幹線基本計画路線関係者による総決起大会に本県も参加し、国に整備計画路線への早期格上げ等を求めたところです。 現整備新幹線の進捗状況等を見ながら、関係団体と連携し引き続き国への働きかけを行います。 また、伯備線の線形改良についても国の支援の拡充を求めており、引き続き令和8年8月に国要望を実施予定です。	輝く鳥取創造本部 (交通政策課)